



2024年3月21日

各 位

会社名 株式会社 アズ 企画 設計
代表者名 代表取締役社長執行役員 松本 俊人
(コード番号：3490 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役専務執行役員管理部長 小尾 誠
(TEL 03-6256-0840)

スタンダード市場の上場維持基準への適合のお知らせ

当社は、東京証券取引所より「上場維持基準(分布基準)への適合状況について」を受領し、当社の判定基準日である2024年2月末時点において、スタンダード市場のすべての上場維持基準に適合していることを確認いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 当社の上場維持基準の適合状況の推移及び計画期間

当社の2024年2月末時点におけるスタンダード市場の上場維持基準の適合状況はその推移を含め、下表のとおりとなっております。これまで上場維持基準のうち、「流通株式時価総額」が適合していませんでしたが、2024年2月末時点において適合することとなりました。

なお、当初提出しておりました「上場維持基準の適合に向けた計画」では計画期間を2025年2月末と定めておりましたので、当初計画よりも早期での適合となりました。

		株主数	流通株式数	流通株式時価総額	流通株式比率
当社の状況	2021年6月末※ (移行基準日時点)	766名	3,149単位	4.11億円	33.1%
	2023年2月末※	1,514名	3,173単位	4.90億円	33.1%
	2024年2月末※	3,161名	5,534単位	13.68億円	46.2%
スタンダード市場の上場維持基準		400名以上	2,000単位以上	10億円以上	25%以上
適合状況		○	○	○	○

※ 東京証券取引所が基準日時点で把握している当社の株券等の分布状況をもとに算定を行ったものです

2. 上場維持基準の適合に向けた取組みの実施状況及び評価

当社は、2021年12月14日に公表した『新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書』において、スタンダード市場の上場維持基準の充足に向けて企業価値向上のために以下の施策を実行してまいりました。

- ①株価の向上
- ②流動性の向上
- ③その他企業価値の向上

それぞれの詳細と進捗については下表のとおりです。

基本方針	取組み内容	進捗状況(24.3.21現在)
①株価の向上	<p>中期経営計画を公表し、その計画どおりに実績を積み上げる</p> <p>(投資家の皆様と成長イメージを共有した上で、公表どおりの実績をあげることが株価向上に繋がると考えている)</p>	<p>中期経営計画(22.2期～24.2期)の公表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・22.2期、23.3期では営業利益・経常利益で計画達成 ・24.2期では計画をわずかに下回ったものの、子会社の成長を実現させ、連結会計へ移行 ➡連結営業利益では、計画を上回る見込みとなった※ ・25.2期以降の中期経営計画については今後策定・公表予定 <p>※24.2.26公表「子会社等の異動、連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表及び2024年2月期通期個別業績予想修正に関するお知らせ」を参照</p>
②流動性の向上	<p>流通株式時価総額の適合に向けた主たる取組みは「①株価の向上」施策だと認識</p> <p>(一方で、流通株式比率の向上に資する資本政策の実施についても検討)</p>	<p>24.2期に入ってから新株予約権を発行し、行使が進捗</p> <ul style="list-style-type: none"> ・行使価額を固定することで、当社が目標とする株価に達するまでは行使されない目標設定型のスキームを活用し、株式価値の希薄化への影響に考慮しながら資本を調達 ➡公表からおよそ9ヶ月経過の23.12.11には全ての新株予約権が行使完了 また、株価についても狙いどおり上昇 公表時株価終値(23.3.8)：1,646円 → 完了時(23.12.11)：2,140円
③その他企業価値の向上	<p>コーポレートガバナンス(CG)の充実 (スタンダード市場基準のCGコード(全83原則)運用企業へ移行する中で、強固なガバナンス体制を築く)</p> <p>SDGsへの取組み (持続可能な社会の実現への貢献を進める)</p> <p>IR/PRの拡充 (積極的な取組みにより、投資家の皆様の当社取組みへのより深い理解を目指す)</p>	<p>エクस्पラインとなっている項目のうち一部を積極検討・実行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検討を進めた5項目のうち、2項目がコンプライに <p>大小さまざまな施策を実行 ※事業と直接関わるものもある</p> <p>(事例1)南三陸町との連携で、当社が保有していたホテルを分割・移設することで宮城県南三陸高校の寮として再活用</p> <p>(事例2)不動産エージェント制度の活用により、様々なバックグラウンドの人材が最大限のポテンシャルを発揮できる環境を整備</p> <p>(事例3)東京本社移転に伴いSDGsに配慮した移転を企画・実施</p> <ol style="list-style-type: none"> ①既存什器の再利用・寄付、②FSC®認定家具の導入 ③最小限の造作 <p>開示の改善(量/質)、発信ツールの拡充など、積極取組み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発信量の増加や、補足資料などの追加による発信内容の深化 ・発信チャネルの拡充や個人投資家向け発信の拡充

上記の取組みと最近の株式市場の情勢から、2025年2月末と定めた計画期間の満了前で「流通株式時価総額」に関する上場基準に適合したものと考えております。

今後も、中期経営計画を着実に実行し、持続的な成長を図るとともに、流動性の向上や、その他企業価値の向上を目指した施策に取り組むことで、「流通株式時価総額」の更なる改善を図ってまいります。

(参考資料)

- ・2021年12月14日公表資料「新市場区分の上場維持基準の適合に向けた計画書」
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3490/tdnet/2059323/00.pdf>
- ・2023年5月29日公表資料「上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について」
<https://ssl4.eir-parts.net/doc/3490/tdnet/2289252/00.pdf>

以 上